



保育理念

子どもたちの保育園での生活は、子どもたちの最善の利益を最優先し、愛護し子どもの福祉を積極的に進める。その中で、家庭や地域との連携を深めながら子どもの養護と教育を一体的に行い、心身ともに健全な育成を図るよう努める。職員は、豊かな人間性を高め、社会性と良識に磨きをかけて質の向上を図る。

保育方針

自発的遊びを通して、心身の健康と自立を育む  
 愛されている、受け入れられている、心地よさを感じながら生活する力、遊ぶ力、楽しむ力を育む  
 家庭や地域社会からの保育や園全般に関する要望・意見・相談は温かく受け止めわかりやすく対応する

保育目標

- 心身ともに健康で明るく元気な子ども
  - 歩く、走る、遊ぶなど戸外での活動を楽しむ。
  - 食事、睡眠、排泄、着脱などの正しい習慣を繰り返し、自立の芽生えを養う
  - 身の回りの簡単なことは自分で処理する力を育てる。
- 友だちや人を大切にし、思いやりのある子ども
  - 友だちを思いやる心を養う
  - お互い協調し合い助け合う心を養う
  - 心豊かで優しさとたくましさを培う
- よく見て、聞いて、考える子ども
  - 生活の中で言葉への興味関心を育て豊かな情操、思考力、表現力の基礎を培う
  - 自然に多く触れ、豊かな体験を通して自分なりに物をみたり感じたり考えたりして、豊かな感情と創造性の芽生えを培う

0・1・2歳児 保育について (家庭で過ごすような担当制保育)  
 保育園では、家庭的でいつも側にいてくれる優しい保育者に囲まれて落ち着いて過ごすことができる家庭に代わる生活の場所でありたいと考えています。

0・1・2歳児クラスは、1人の保育士が少人数を担当し保育します。(担当するお子さんだけを保育するというものではありません) 1対1で着替え等の育児行為や食事のお手伝いをする育児担当制を実践し、園のお母さんとして優しく接し、子どもたちとの愛着関係がより深いものとなるように関わっていきます。食事はみんなで一緒に「いただきます」をせず、一人一人の生活リズムに合わせて、時間の差を付け食べ始めます。一人ずつ丁寧にに関わり、ゆっくり食べることができることで、食べる意欲と楽しく食べる喜びを保育者と一緒に味わうことができるということにつながっていきます。

遊びについては、発達にあった遊びや玩具を揃え、子どもたちが自分で選んで遊び、好きな遊びを見つけたらじっくり遊びに取り組むことができるように環境を整えて行きます。

毎日の生活の流れを崩さずに生活することで、子どもたちの心の安定と保育者との信頼関係を大切にしながら保育をしていきます。

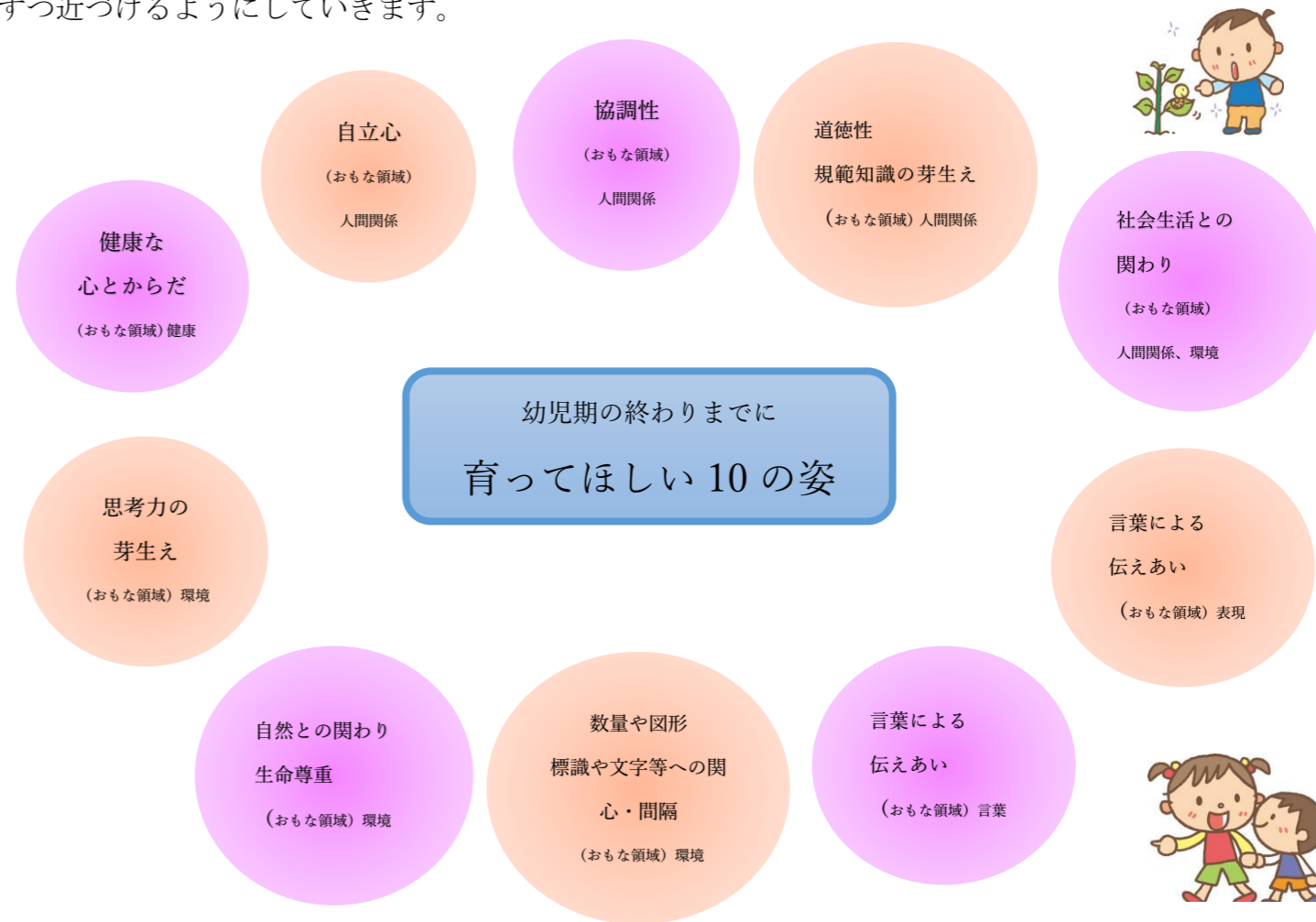


3・4・5歳児 保育について

3歳以上の子どもたちは、遊びを通して大きく育っていく時期です。「知りたい、言いたい、やってみよう」という子どもたちの気持ちを大切にし、達成感、充実感を味わい、自発的で主体的な「遊び」ができることが、子どもたちを成長、発達させる最も有効な手段と考えられます。

自然に触れ豊かな経験を通して、心地よさを感じながら、豊かな感情と創造性の芽生えを育て、人を大切にし、思いやりのある子どもに成長するように、安心できる生活環境を整えていきます。

保育園での生活を通して、個人差がありますが、幼児期の終わりまでに、育ってほしい10の姿に一步步近づけるようにしていきます。



子どもたちは一人ひとり異なる個性があり、成長のペースは様々です。遊びの中で表現は苦手だけれど本を読むことは好きな子、運動は嫌いだけれど、縄跳びだけは得意な子もいます。それぞれの子どもたちの個性を尊重し、子どもの得意分野を伸ばして自身につながるようにしていきたいと考えています。

子どもたちが一番落ち着ける場所は、お家です。子どもたちと一緒に過ごす時間をじっくり過ごして頂くことが子どもたちの成長のバロメーターとなりますので、大切に頂き、子どもたちの成長と一緒に喜び、共感していきたいと思っております。よろしくお願いたします

